

会 議 録

会議名 (審議会等名)	令和4年度 第1回 相模原市下水道事業審議会 (書面会議)		
事務局 (担当課)	下水道経営課 電話042-707-1840 (直通)		
開催日時	令和4年8月24日 (水) ~ 9月7日 (水)		
出席者	委員	14人 (別紙のとおり)	
	その他	0人	
	事務局	3人 (下水道経営課長、他2人)	
公開の可否	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	—
公開不可・一部不可の場合は、その理由	書面会議のため		
議 題	1 議 題 会長及び副会長の選出について 2 報告事項 (1) 下水道ビジョンの推進 (令和4年度の主な取組み) (2) 下水道施設の現状について		

議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり。

(審議を書面等で行った理由)

新型コロナウイルス感染症のまん延を防ぐため、委員等が一堂に会する方法によらず、書面により委員の意見を求めることにより会議の開催に代えることとした。

1 議題 会長及び副会長の選出について

事務局が推薦した会長・副会長について、承認・不承認の決議を図った。

承認14名、不承認0名の結果、出席者のうち過半数の承認を得たため、事務局が推薦した以下の会長・副会長が承認された。

会 長： 西川 雅史委員

副会長： 篠崎 栄治委員

2 報告事項

(1) 下水道ビジョンの推進（令和4年度の主な取組み）

下水道ビジョンの各項目における進捗状況及び令和4年度の主な取組について報告し、意見を募った。

委員より提出された意見は以下のとおり。

(池田委員) 資料2-2 今後の進め方「専門的知識を備えた人材の育成を推進」について、どのような計画をたてているのか。(対象者の選出、教育、予算など)

(事務局) 所属する土木職員を対象として、再任用職員などのベテラン技術職員やOJTによる技術継承の取組を行っております。また、外部研修施設への派遣研修予算を確保し、専門的知識を備えた人材育成を行っております。

(池田委員) 資料2-7 予算について、急激な物価上昇や資材不足による工事の遅れなどを耳にすることが多くなってきたが、予算上の問題はあるか。また、工事の進捗状況に影響はあるか。

(事務局) 急激な物価上昇による予算上の問題については以下の2つが挙げられます。

- ・ 電力料金の高騰 … 汚水処理等のプラントを稼働するための電力を大量に消費する「相模川流域下水道」の維持管理負担金の大幅な増額が見込まれる。
- ・ 建設資材の高騰 … 一部資材の高騰

しかしながら、以上を踏まえても、下水道事業全体への影響は少なく、今年度決算は収支黒字を維持できる見込みです。

次年度も電気料金の高騰が続くなどの理由により収支赤字となる場合は、利益積立金を取り崩して対応いたします。

また、資材不足による工事の進捗状況への影響については、世界的な半導体不足や新型コロナウイルス感染拡大による人流抑制などの影響により部品の供給が滞り、一部の工事では数か月程度の遅れが生じていますが、施設の安全管理上の問題は生じておりません。

(池田委員) 昨年、所属団体で下水道事業についての出前授業を受けた。現状がわかり易く色々と知ることができたが、出前授業を行っていることを知らない市民も多いので、機会があればもっと広報していただきたい。

また、下水道展だけでなく、リサイクル展や消費生活展等にも出展して広報する機会を増やしていただきたい。

(事務局) 今後、団体や小中学校向け出前授業の実施について機会を捉えて広報していきたいと考えております。またイベントへの出展については、SDGs等、下水道事業と関連するイベントに積極的に参加し、普及啓発活動を行いたいと考えております。

(岸委員) 資料2-4について、昼間工事により平均事業単価が大幅に減少しており今後進めていくとなっているが、単価の下げ幅が半額等になっており、本当にそんなに下げられるのか疑義あり。また、その代償として他のデメリットがないのか気になる。

(事務局) 管きょ耐震化工事の単価は、対象管の口径や構造によって変動します。今後施工する工事については、今までとは工法が異なるほか、昼間に作業できることや、対象管の口径等がもっぱら小さくなることによって、比較的安価で施工可能なため、結果的に事業費が大幅な引き下げとなったものです。なお機能や品質の問題はありません。

(岸委員) 資料2-6について、(課題として) 作業が困難な場合もあるとのことであるが、直近の計画と実績を確認しておきたい。

(事務局) 平成30年5月策定の「分流化実施計画」において想定した、令和3年度末進捗率67パーセントに対する実績値は66パーセントとなり、概ね計画どおり進んでおります。

(西川委員) 資料をカラー印刷とし、かつ大判にしたことで見やすくなっているが、これだけの内容を独立で理解することは容易でないので、動画による配信をすべきと思う。

(事務局) とりわけ書面開催の場合には、動画等を活用した分かりやすい資料作成に努めてまいります。

(守屋委員) 資料拝読し、前々回と比較してとても判り易くなっており、関係各位の苦勞が偲ばれる。下水道施設の保全是待ったなしである。自分も智恵を絞ってみる。

(熊谷委員) 記載されていたことはおよそ理解できたが、一番大切なのは、市民の理解かと思う。おそらく9割の市民が自ら知ろうという意欲を持っていないと思うが、“きっかけ”があれば知る意欲も刺激される。自治会を対象とした研修会や、バスレクの一部などとして、きっかけ提供の機会を増やすことが大切であると思う。

(事務局) 市民の皆さまに下水道事業の取組を知っていただくきっかけとなることを目的として、マンホールカード配布やInstagramによる情報発信を行っております。今後は、団体や小中学校向け出前授業の実施についても、機会を捉えて広報していきたいと考えております。

(2) 下水道施設の現状について

下水道管きょ及びポンプ場の状況について報告し、意見を募った。
委員より提出された意見は以下のとおり。

(守屋委員) 現況がよくわかった。日頃の活動に感謝する。

(熊谷委員) 標準耐用年数を超えた設備の写真はとてもインパクトがありわかり易い。重要性はすぐに伝わると思うが、「業務の効率化」となると「業務」や「効率」の定義や具体例が分からないので、その“運営”について意見することが難しい。

(事務局) これまでの下水道の維持管理につきましては、主に下水道施設に何か不具合が生じると修繕や更新を行う「対処療法型維持管理」を行ってきました。しかしながら、不具合の発生が施設の供用年数に比例すると、今後、加速度的に増える不具合数のピークに合わせた予算や人材が必要となります。そこで資料2-2のように供用年数や施設の環境条件に合わせ計画的に点検・調査を行い、不具合を未然に防ぐ「予防保全型維持管理」に移行して

いるところです。人間の身体に例えれば、何かの異変に気づいてから病院に行くのではなく、定期的に健康診断を行い病気を未然に防ぐ健康管理となります。併せて点検・調査・診断から修繕や更新などへの一連の業務を民間活
力に委ねることで、職員の省力化や市民サービスの向上を図ることを検討
しています。審議会においては、導入を検討している新しい維持管理体制に対
し、料金や市民サービス（例えば要望に対するレスポンスなど）への影響な
どの視点からご意見を賜れば幸いです。

以 上

相模原市下水道事業審議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	みやの ぜんざぶろう 宮野 善三郎	相模原市自治会連合会（緑区）		出席
2	たけだ みきお 竹田 幹夫	相模原市自治会連合会（中央区）		出席
3	もり いつお 森 逸雄	相模原市自治会連合会（南区）		出席
4	おちあい ゆきお 落合 幸男	相模原市農業協同組合		出席
5	しのぎき えいじ 篠崎 栄治	相模原商工会議所	副会長	出席
6	はやし かよこ 林 加代子	特定非営利活動法人 男女共同参画さがみはら		出席
7	いけだ すみこ 池田 珠三子	さがみはら消費者の会		出席
8	かねこ よしゆき 金子 義幸	相模原の環境をよくする会		出席
9	あおやま みつお 青山 光男	公益財団法人 神奈川県下水道公社		出席
10	にしかわ まさし 西川 雅史	青山学院大学経済学部教授	会 長	出席
11	ひろた はるあき 広田 啓朗	武蔵大学経済学部教授		出席
12	きし とおる 岸 徹	岸公認会計士事務所		出席
13	もりや としひこ 守屋 俊彦	公募委員		出席
14	くまがい ゆか 熊谷 由加	公募委員		出席